H27 アクションプラン　上半期の振り返りと今後のアクションシート　事業№34

①事業の基礎情報

事業名		いきいき号循環事業	担当部・グループ名		市民総合窓口センター 市民生活グループ
実施期間		平成 26 年度～平成 29 年度	担当 GL 氏名		山下　浩二
新規・継続の別		**継続事業**	電話番号(内線)		52-1111(内線 260)
総合計画（基本計画）体系	個別目標	(8)ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくります	予算書上の予算・事業名	款	7款　商工費
				項	1項　商工費
	こんなことに取り組みます	安全・安心・便利に移動できるよう道路を整えるとともに、公共交通の利用も促進します。		目	4目　コミュニティ交通費
				事業名	1　いきいき号循環事業
	みんなで目指すまちづくり指標名	暮らしやすい環境が形成されていると感じている人の割合			

現状値(H25)	67	実績値(H26)	64	実績値(H27)		実績値(H28)		目標値(H29)	72	(単位)%

②事業の概要

目的 （何をどうするために）	★「いきいき号」の運行についてのアンケートを毎年度実施し、その結果を運行方針に反映する。 ・主要公共施設、地域拠点及び主要駅を連絡する。 ・医療機関、大型店舗等の商業施設を連絡する。 ・高齢者等の交通弱者の乗降に配慮する。 ・乗車時間を可能な限り短縮する。		
対象（誰・何を対象に）	市民	対象の数量	46,373 人
最終目標 （最終的に何がどうなれば達成か）	☆いきいき号循環事業は、交通弱者の移動のためのセーフティーネットであり、路線を維持することが最終目標である。したがって路線維持のための目安として、平成 24 年度の年間利用者 25,668 人を基準に年間利用者数 25,000 人以上の確保を路線維持のための目標とする。		

③事業にかかる事業費概要

平成 27 年度（当初予算額）				主な内容
事業費総額（千円）			25,639	・地域公共交通会議委員謝礼 116 千円 ・いきいき号循環事業費補助金 24,747 千円 ・商店街活性化事業費補助金 660 千円 ・その他事務費 116 千円
財源内訳	一般財源		25,639	
	特定財源	国・県支出金	―	
		その他	―	
補助事業・単独事業の別			単独事業	

④上半期の進捗状況（目標の達成に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どうした　※箇条書きで記載する	いつ（年月）	アウトプット
実施内容	①８月末現在利用者対前年同時期△974 人（△7.5%）	H27.4	12,042 人
	②市内コース（８月末現在）対前年同時期△957 人	H27.4	7,998 人
	③土曜日コース（８月末現在）対前年同時期△62 人	H27.4	204 人
	④刈谷コース（８月末現在）対前年同時期 45 人	H27.4	3,840 人
進捗状況	当初に掲げた年間 25,000 人の利用が見込める状況である。		
参画・協働・情報共有の工夫	★事業者、利用者等構成する地域公共交通会議にて運営方針を決定する。		
実施内容に対する成果（事業の自己評価）	☆平成 23 年７月の路線の見直し以来、利用者が増加している。		

⑤課題と今後の取組みの方向性（上半期を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
（１）　路線の見直し ・平成２７年度は利用者が前年度と同水準になる見込みであることから、路線見直しに着手する必要がある。	・依然多くの利用があることから、今後の利用状況等を見ながら地域公共交通会議にて、現路線の継続を含め、今後の運行方針を決定する

⑥課題解決に向けた下半期の具体的なアクション（案）

	何を・どうする　※箇条書きで記載する	いつまでに（年月）
実施内容	①地域公共交通会議にていきいき号の運行方針を決定する。	H28.1
参画・協働・情報共有の工夫	★平成１８年１０月の改正道路運送法に位置付けられた参画、情報共有等の手法である地域公共交通会議にて路線の見直し等を検討する。	

特記事項	